

平成 25 年度 上越市「学校保健部」活動報告

部長 山崎 美枝子

1 研究主題

児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援〈一年次〉

2 研究の概要

【目的】児童生徒の「健康管理能力の育成」に視点を置いた保健教育の効果的な支援について、実践の中から明らかにする。

【内容】「健康管理能力の育成」を目指す支援内容として設定された5つの領域から、養護教員部として保健教育を選択し、上越市の健康課題である「生活習慣」に焦点を当て研究を推進する。保健教育教材研修や授業実践等で情報交換・協議し研修を深め、平成26年度に「生活習慣病予防教育資料集」を作成する。資料集を共有しながら、各校での実践をさらに進めることで、効果的な支援について検証していく。

3 全体研修会の概要

日時：平成 25 年 11 月 13 日（水） 13:30～16:45

会場：上越市教育プラザ 201 会議室 参加人数：80 名

講演：「『生活リズムの確立』の学習内容と教材開発 ―いのちとしての「体温」学習を軸に―

講義：「上越市 保健指導の実践一覧表を基にして ―系統性を持たせた指導計画作成へのヒント―

講師：宮城教育大学・弘前大学他 大学講師 千葉 保夫 様

【講演の主な内容】

ワーク① 「人間の体温、生活リズムに関する疑問を書いてみよう」

- ・東日本大震災の経験から学ぶ

ワーク② 「誰の体温が一番高い？」

- ・生きている証拠にふれる
- ・睡眠パターンは自ら作っていくもの
- ・科学的な根拠を基に必要性を教えること

【講義の主な内容】

- 夏の研修でまとめた実践の概要では、生活リズムの形成について、各校でどこに重点をおくか吟味し取り組んでいる様子が見えて、とてもよい。
- 必要性を掘り起こしていくことが大切である。
- 生活リズムの要素が、睡眠・排便・運動・食事・メディアの領域から構成されていてよい。メディアについては、健康面だけではなく、使い方の指導も入れて整理することが望ましい。
- 他教科との関連や現代的な健康問題（例：熱中症）を網羅したらどうか。実践においては、〈健康課題に合わせて重点化した目標を掲げステップを作る、記録する、養護教諭が学び合う、集積していく〉のサイクルを仕組んでいくと有意義な物ができてくる。



4 成果と課題

市内で行われている実践の内容について、研修を通して確認できた。また、講演・講義を通して保健教材づくりの視点を得ることができた。今後は、今年度の内容を精選しながら、指導計画、資料集の作成、各校でのよりよい実践を目指していきたい。